新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書（単位：千円）

予算事業名		はつらつシニアサポート事業	
担当		保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 柏、岡部（211-2976）	
基本目標		2	健やかに暮らせる共生の街さっぽろ
重点戦略課題		3	地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進
施策		2	高齢者や障がいのある人の社会参加の促進
関連新まち計画事業名			
		予算額	決算額
		事業費の主な内訳	
事業費		38,100	16,256
財源内訳	国・道支出金		
	市債		
	その他		
	一般財源	38,100	16,256
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方		事業内容(量・場所・規模等)	
<p>札幌市の高齢者人口は約34万人(高齢化率18.1%)となっている。このうち、元気な高齢者は、要介護認定者や虚弱な高齢者を除くと、約8割の26万4千人で、今後、さらなる増加が見込まれており、実りある生きがい対策が求められている。</p> <p>これまでの生きがい活動は、趣味、楽しみといったことに重点が置かれているが、これからは、高齢者自らが、何か社会に与えることができるという社会貢献を行うことで自己実現を図り、生きがいを見いだして、長い高齢期をはつらつと暮らし、介護予防につなげていくことが重要となっている。</p>		<p><17年度> フォーラム・パネル展の開催(10月14～16日:アクセスサッポロ) シニアサロンモデル事業 ・高齢者団体が自発的に運営し、高齢者の居場所、活動の拠点として、社会貢献などの先駆的な生きがい活動を行うサロンに対し経費の一部を補助(17年度:3団体)。 シニア無審査文化展の開催(11月19～27日:旧豊水小学校体育館) シニアさわやか元気づくり事業(健康づくり講演と映画上映) (11月28日:道新ホール)</p> <p><18年度> シニアチャレンジ事業 ・高齢者団体による先駆的な取組に対し、経費の一部を補助(18年度:8団体)。 シニアサロンモデル事業 (18年度:6団体(3団体継続含む)) シニア無審査文化展の開催(9月20～24日:中央区民センター) 情報機器利用実証実験事業 ・高齢期の豊かな生活を支えるとともに、高齢者団体の自発的運営の効率化等の支援を図るため、携帯電話、コールセンターを利用した情報利活用実証実験を実施。</p>	
評価(成果)		課題	
<p>高齢者の生きがいと社会貢献活動を支援する事業を実施しており、高齢者の地域社会への参加や自主的な地域活動の促進に役立っている。</p>		<p>高齢者の自主的な地域活動の低下につながらないよう、支援の方法や範囲などについて検討していく必要がある。</p> <p>・シニアサロンモデル事業で補助期間が終了するサロンがあるが、事業運営経費が課題となっており、今後継続して活動するための支援策を検討する必要がある。 ・より多くの高齢者が参加したり、新たな取組をできるように、現在実施しているサロン等のPRを効果的に行っていく必要がある。</p>	
19年度以降の方向性・事業の予定			
<p>19年度以降は、「シニアチャレンジ事業」、「シニアサロンモデル事業」を重点的に進めることとし、これら的高齢者団体の自主的な活動が広く浸透し、継続して活動していけるような支援策を実施していく。</p> <p>19年度は、18年度に引き続き「シニアチャレンジ事業」、「シニアサロンモデル事業」の補助制度を実施するほか、高齢者団体の活動を紹介する冊子の作成や、発表の場、意見交換の場を設ける。</p>			